

第32回社会福祉実践家のための臨床理論・技術研修会
2018年10月20日(土)10:00~16:30

<総合テーマ>

ソーシャルワーカーの 成長に向けて、共に歩む グループスーパービジョン

<オリエンテーション>10:00~10:15
研修の1日の流れ等をご説明します。

<基調講演>10:15~12:00

「ソーシャルワーカーの成長に向けて、
共に歩むグループスーパービジョン
～苦しみやつますきを乗り越えるために～」

講師：山崎美貴子（本学名誉教授、神奈川県立保健福祉大学名誉教授、
東京ボランティア・市民活動センター所長）

<全体ワークショップ>13:00~16:00

グループスーパービジョン体験

グループスーパービジョンの学びを現場で活かした経験談

協力：明治学院大学山崎美貴子ゼミソーシャルワーク勉強会メンバー

<ネットワーク懇親会>16:00~16:30

研修のフィードバックと共に、ソーシャルワーカー同士のネット
ワーク拡大の場です。奮ってご参加ください(茶菓提供)。

主催より企画趣旨です

2018年5月に、山崎美貴子監修／明治学院大学山崎美貴子ゼミソーシャルワーク勉強会著『ソーシャルワーカーの成長を支えるグループスーパービジョン～苦しみやつまずきを乗り越えるために～』（中央法規出版）が発行されました。

本書は、クライアントの支援方法を検討した事例集やグループスーパービジョンの解説書ではなく、悩み、葛藤するソーシャルワーカー自身に焦点をあてています。山崎美貴子ゼミソーシャルワーク勉強会では、福祉現場で働く卒業生達が事例を持ち寄り、グループスーパービジョンを通して仲間と分かち合い、創造的に学ぶ場を大切に持ち続けてきました。本書には、そのグループスーパービジョンでのやりとりが再現されています。

ソーシャルワーカーは、組織や制度、時には自分の価値観とも向き合いながら一人ないし少人数の職場で、孤立無援の状態に陥ることが少なくありません。さらに、時代と共にソーシャルワーカーに求められる役割や視点も大きく変わってきています。その難しさを乗り越え、「ソーシャルワーク実践の面白さ、奥行き」の深さに気づくには、仲間との学びの共有が欠かせないと、山崎美貴子先生は述べています（本書「はじめに」より）。

今回の研修会では、約30年にわたり、グループスーパービジョンの場に関わり続けた山崎美貴子先生に講演いただき、「苦しみを仲間の助けで乗り越え、成長することもできる」というメッセージを、第一線の現場で取り組むソーシャルワーカーたちに生で伝えていただく機会としたいです。



◆ 基調講演 講師ご紹介

山崎美貴子 (やまざき みきこ) 先生

明治学院大学名誉教授
 神奈川県立保健福祉大学名誉教授
 東京ボランティア・市民活動センター所長



<経歴>

明治学院大学卒業、立教大学大学院文学研究科応用社会学専攻修了
 横須賀基督教社会館非常勤職員・英国マンチェスター大学院留学を経て、
 1977年より明治学院大学社会学部教授
 1996年同大学社会学部長、1998年同大学副学長
 2003年より神奈川県立保健福祉大学教授、2007年神奈川県立保健福祉大学学長

<主な研究テーマや著書等>

ソーシャルワークの動向、ひとり親・DV被害にある家族支援のあり方、地域包括支援のあり方、ボランティア活動・市民活動推進等。

「ソーシャルワーカーの成長を支えるグループスーパービジョンー苦しみやつまづきを乗り越えるためにー」(中央法規出版、2018年)

「社会福祉援助活動のパラダイムー転換期の実践理論」(相川書房、2003年)

「社会福祉援助活動における方法と主体ーわが研究の軌跡」(相川書房、1998年)

「社会福祉援助活動ー転換期における専門職のあり方を問う」(岩崎学術出版社、1998年)

全体ワークショップ協力者： 「明治学院大学山崎美貴子ゼミ ソーシャルワーク勉強会」とは？

ソーシャルワーカーは組織の中で孤立無援に陥ることが多い仕事です。30年前、病院のソーシャルワーカーであった一人の卒業生が悩みを抱えて、恩師である山崎美貴子先生のもとを訪れました。山崎先生は、専門職として責任を果たす卒業生を支えるために、卒後教育も踏まえて、研究会「山崎美貴子ゼミソーシャルワーク勉強会」を立ち上げました。

主に病院のソーシャルワーカーとして巣立った同ゼミの卒業生たちに、この勉強会が紹介されていきました。連絡調整役を務める卒業生の縁の下の力により、勉強会は脈々と続きました。山崎先生と代々のゼミ卒業生との勉強会は、世代を超えた専門職の「仲間」との出会いの場にもなりました。ある卒業生は、めざしたいソーシャルワーカーのモデルを先輩たちの姿から描いたといいます。ソーシャルワーカーたちが「共に歩む」場として、勉強会は継続しました。

<参加申込要項>

(1) 開催日時 **2018年10月20日 (土)**

10:00～12:00 オリエンテーション・基調講演

13:00～16:00 全体ワークショップ

16:00～16:30 ネットワーク懇親会

(2) 会場 明治学院大学白金キャンパス (東京都港区白金台1-2-37) 2号館2階2102教室

(3) 対象と定員

- 研修会：原則として現在社会福祉の諸領域にて、実践活動を行っている方です。
定員60名 (先着順にて受付)
- 基調講演オープン参加：関心のある方なら、どなたでも参加できます (先着順にて受付)。

(4) 参加費

- 研修会 (基調講演・全体ワークショップ・ネットワーク懇親会)：3,000円
申込受付後、振込用紙を送付しますので、必ず事前にお振り込みください。
参加費振込後の返金には応じられませんのでご了承ください。
*全体ワークショップのみの申込は受け付けておりません。
- 基調講演オープン参加：1,000円 当日受付にてお支払いください (申込要)。

(5) 申込方法 ***2018年9月3日 (月) より、申込受付を開始いたします**

- 研修会：
以下の所定事項①～⑦を記入し、Eメールで申込先へお送りください (FAXも可)。
折り返し振込用紙を送りますので、参加費を入金してください。
参加費入金の確認をもって申込完了となります。
入金を確認しましたら (確認には10日間ほど要します)、事務局よりEメール (またはFAX) をお送りします。
1週間以上Eメール (またはFAX) への返信 (振込用紙の送付含む) がない場合はお手数ですが、TELで再連絡をお願いいたします。
振込控えが領収証となります。改めての領収証発行はできませんのでご了承ください。
研修会当日、振込控えをお持ちください。
事前に必ずお申し込みください

- 基調講演オープン参加：
Eメール・FAX・TELで申込先へお申し込みください。

<研修会申込に必要な所定事項>

- | | |
|-------------------------|---|
| ①氏名 (ふりがな) | ⑤本申込に関する問い合わせ先としての
TEL・Eメールアドレス (またはFAX) |
| ②所属先と職名、所属先の所在地 (都道府県名) | ⑥社会福祉実践に関わる所持資格
(例：社会福祉士・精神保健福祉士等) |
| ③社会福祉実践家としての実務年数 | ⑦明治学院大学卒業の方は卒業年 |
| ④振込用紙や報告書の発送先ご住所 | |

個人情報の取扱いについて：明治学院大学社会学部付属研究所では、申込時における個人情報について「学校法人明治学院個人情報保護方針」に副って厳重に管理いたします。これらの個人情報は、明治学院大学社会学部付属研究所の「社会福祉実践家のための臨床理論・技術研修会」ご案内用としてのみ利用いたします。第三者には提供いたしません。

<詳細・申込先>

明治学院大学社会学部付属研究所

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

Eメール:

issw@soc.meijigakuin.ac.jp

TEL: 03-5421-5204・5205

FAX: 03-5421-5205

<明治学院大学白金キャンパスへのアクセス>

- 東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線「白金台駅」「白金高輪駅」、都営地下鉄浅草線「高輪台駅」より徒歩約7分
- JR・京浜急行「品川駅」高輪口下車、都バス「目黒駅」行で「明治学院前」下車
- JR・東急「目黒駅」東口 (ロータリー側) 下車、都バス「大井競馬場」行で「明治学院前」下車